

10

トランスファプレスの自動化

ケーブルおよび配管の接続： トランスファの生産性に対する影響は？

Misatiによって自動化されるフィンガーユニットの特徴は、露出ケーブルの本数が少ないことです。単なる美観上の問題ではなく、ケーブルや配管の偶発的な破損による生産の停止が最小限に抑えられます。

ケーブルの破損

トランスファの最も脆弱な部分は、グリッパーに供給するエア配管とセンサー用の電気ケーブルだと考えられます。ケーブルが何かに引っ掛かった際にケーブルが外れることはよくあります。さらに、シートの鋭利な端部によって配管は容易に切断される可能性があります。



このタイプの事故は、フィンガーユニットが移動および操作されているときだけでなく、プレス工程中にも発生します。

クランプ、アドバンス移動中に、フィンガーユニットは金型の上に入りますが、そこには非常に限られたスペースに多くの要素があります。

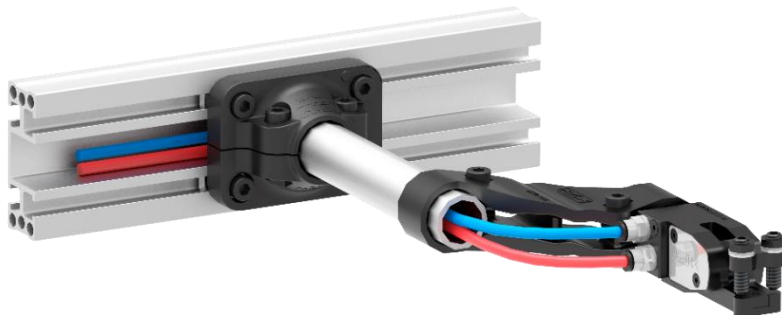
ケーブルが束ねられたり、保護されたりしていないと、ガイドコラムやセンタリングピンなどで押し潰されたり、破損したりして、プレスを停止させる可能性があります。

保護されたケーブル＝生産停止の減少＝シートの生産性向上

35ストローク/分で部品をプレスするトランスファは、センサーが誤って切り離されたという理由だけで何時間も停止することはできません。

偶発的なケーブルの破損による生産停止を回避するために、Misatiではすべてのケーブルを配管およびフィンガープレートの内側に配置しています。

ケーブルは保護されていますが、いつでもアクセスできます。フィンガープレートの前面カバーは簡単に取り外すことができます。



保護されて、いつでもアクセス可能なケーブル＝組立時間の短縮

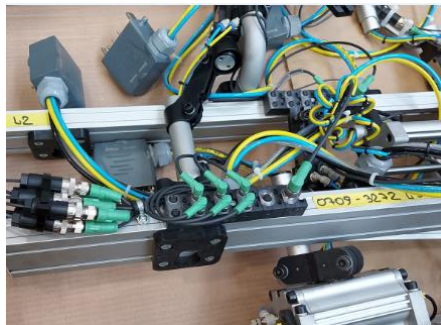


さらに、配管やフィンガープレートの内側にケーブルを配置することで、ケーブルや配管をそれぞれマジックテープやネジで固定する必要がなくなり、組立時間を短縮できるというメリットもあります。

識別が容易

グリッパーを一目で特定できますか？

グリッパー・フィンガープレートフィンガープレートを迅速かつ



正確に特定することで、保管および組立にかかる時間が短縮できることは間違いありません。

Misatiでは、各フィンガープレートを独自の参照記号で識別しています。また、空圧レバーの色分けにより、フィンガーユニット内の各フィンガーの位置を迅速に特定できます。

